

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	令和2年度 第1回鴻巣市総合教育会議		
開催日	令和2年6月30日(火)		
開催時間	午後4時00分 開会 ・ 午後4時50分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎 303会議室		
議長氏名	鴻巣市長 原口 和久		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	鴻巣市長 原口 和久 【教育委員会】 教育長 武藤 宣夫 教育長職務代理者 石原 完 委員 中山 裕子 委員 斉藤 敬 委員 太田 恭子 (6名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし		
執行部及び事務局 職員職氏名	【市長部局】 市長政策室長 根岸 孝行 市長政策室副室長 佐々木 紀演 市長政策室参事兼総合政策課長 武田 昌行 【教育委員会】 教育部長 齊藤 隆志 教育部参与 野本 昌宏 教育部副部長 清水 千之 教育部副部長兼学務課長 大島 進 教育部教育総務課長 鳥沢 保行 教育部教育総務課副課長 藤平 健司 教育総務課副主査 新井 洋平 教育総務課主任 新井 亮裕 【事務局】 総合政策課副主査 齋藤 則考 総合政策課主任 大島 悠志		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (2名)		
会議の内容	(協議事項) 1 笠原小学校のあり方について 2 鴻巣市学校教育情報化推進について (決定事項など) 協議事項1については、「鴻巣市小・中学校適正配置等審議会」及び「鴻巣市立小・中学校のあり方研究懇話会」での意見や、笠原小学校の児童数の推移(見込)について説明を受け、次のような意見交換がされた。 ・今後の笠原小学校の入学予定者数を見ると、より小規模化した教育環境が想定され、集団での学習活動に様々な制約が生じることからも、児童へのより		

	<p>良い教育環境を提供することを第一に考え、笠原小学校を廃止とし、鴻巣中央小学校への編入に向けた検討を開始していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の子どもたちが別々の学校に行くのではなく、同じ学校に通った方が将来的な人の繋がりもでき、社会性も育てられてよいとの意見があったことから、安養寺地区を含めた笠原地域全体が鴻巣中央小学校に通学することが望ましい。 ・鴻巣市並びに教育委員会の考えをまとめ、早い段階において、笠原小学校の今後の方針を保護者の方々や地域の方々に示すべきである。 ・遠距離通学となる児童の交通手段の確保が必要であり、登校のみならず、下校時の対応等、児童の安全・安心の観点から、車両の導入の必要性について検証した上で、通学支援を実施していく。 ・跡地の活用についても、コミュニティ施設や避難所といった公共施設としての役割を踏まえた上で、地域の交流の拠点となるように方針を早めに示し、地域の皆さんに納得していただくような対応が必要である ・早い段階で方針を示す必要があるものの、児童の不安を払拭し、学校生活に馴染めるよう、笠原小学校の児童と鴻巣中央小学校の児童が交流する機会をできる限り多く設けることが重要であるため、令和3年度はそのような活動を活発に行いたい。 ・今後のスケジュールについては、懇話会、保護者並びに地域の方々に意見をもらい、令和3年に入学する児童、保護者が混乱しないよう早めに示したい。 <p>協議事項2について、「先端技術を活用したICT環境の整備」、「学習形態の変革」、「人財の育成」、「子どもと向き合う時間の創出」の4つの柱をベースに本市の教育の情報化を推進していく旨の説明があり、次のような意見交換がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の学習者用端末の配布や最先端基盤を使用したフルクラウド環境整備等、来年の4月から利用できるような体制を整える。 ・来年の4月からの運用に向けて、教職員への研修や講習会は早くから実施する必要があるが、ネットワークの整備後でないとフルクラウドシステムを利用できないため、ワーキンググループでその対策については検討していく。 ・授業での学習者用端末の活用方法については、議論をする時のまとめ等はパソコンでプレゼンテーションの形にして発表し合うことが挙げられるが、引き続き、先進的に取り組んでいる学校を参考に検討していく。 ・オンラインドリルについては、できる限り子どもたちにも教員にとっても使いやすいくて、記録が残ることで苦手分野を把握することができ、また学校が楽しくなるようなドリルの導入を考えていく。 ・パソコンについては、学校内でのみの使用を考えているが、今後、新型コロナウイルスの第2波第3波などの状況に応じて、家庭学習で使うことも検討していく。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度鴻巣市総合教育会議 次第 ・【資料1】第1回 鴻巣市立小・中学校のあり方研究懇話会での意見 ・【資料2】令和2年度児童生徒数・学級数について ・【資料3】鴻巣市立小・中学校児童生徒数及び学級数の推移（見込） ・Moonshot for Education ～Konosu City～

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。